

衆院解散総選挙について

政治不況とも言える経済状況の中、野田首相が閉塞感を打破するために退路を断ち、衆院解散を決断されたことを評価したい。

選挙結果がどうであろうと、政権を担うこととなる政治家には、自らの保身や政局に拘泥することなく、円高やデフレ、エネルギー政策、外交、財政再建など山積する課題の解決に向けて、経済成長を最優先に徹底的に取り組むべきである。次期政権には迅速な決断と実行力あふれるリーダーのもと、国民の信頼に応える政治運営を期待したい。

以 上

平成24年11月16日
京都商工会議所
会頭 立石 義雄